

第5章 計画の推進体制

本計画は、第3期計画の基本理念を引き継ぎ、「みんなで進める 健康寿命日本一のまちづくり ～人生100年時代！健康で心豊かに暮らせるまち 志木市～」を基本理念としています。市は次世代を担う子どもや若者、そして高齢者まですべての世代が地域のつながりの中で、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を目指し、計画を推進します。

1 庁内推進体制

本市の保健・衛生部門である健康政策課、健康増進センターを中心とし、子育て・高齢者・福祉関連、教育関連、さらに産業関連や都市整備関連などを含め横断的な体制で臨みます。地域が一体となった健康づくりのネットワークを構築し、市民の健康づくりを支援していきます。

また、健康づくり施策の推進における中心的な役割を担う保健師・管理栄養士などの人材の確保及び資質の向上に努めていきます。

2 市民、団体との連携による推進

朝霞地区医師会、朝霞地区歯科医師会、朝霞地区薬剤師会などの健康に関する専門機関との連携はもちろんのこと、社会福祉協議会や母子保健推進員、食生活改善推進員、民生委員、児童委員など、本計画策定に関わった市内の関係団体や教育機関、各種関係団体などと連携を強化していきます。

3 進行管理と評価

すべての市民が健康で充実した生活を過ごすことができる地域社会の実現に向けて、毎年度、志木市健康づくり市民推進協議会を開催し、本計画で整理した行動目標の進行管理を実施するとともに、それぞれの施策を着実に推進します。また、計画期間内であっても、社会情勢の変化や国・埼玉県の動向などを踏まえ、必要に応じて、計画の見直しを行います。

単年度ごとに結果が得られる統計調査や健康診断問診票などにおいて、定期的にモニタリングできる指標は毎年度評価を行います。その他の指標については、2022年度に実施する市民健康意識調査などで各指標の経過を確認します。指標における進捗状況の報告及び評価は志木市健康づくり市民推進協議会で行います。なお、本計画の最終年度に、すべての指標の達成状況を検証・評価し、次期計画に反映します。

推進体制のイメージ図

<p>基本 理念</p>	<p>みんなで進める 健康寿命日本一のまちづくり ～人生 100 年時代！健康で心豊かに暮らせるまち 志木市～</p>
<p>基本 目標</p>	<p>1 子どもから高齢者までみんなが健康に関心を持ち実践する 2 子どもから高齢者までみんながいきいきと健康づくりに取り組んでいる 3 子どもから高齢者までみんなが地域でつながっている</p>
<p>計画 期間</p>	<p>2019(平成 31)年度から 2023(平成 35)年度までの5年間</p>

